

事業名：【R3補正】甘味資源作物生産性向上緊急対策事業(さとうきび生産性向上緊急支:

所在市町村等	事業実施主体	実施年度	目標年度	目標1							目標2							事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の所見		
				目標	単位	目標数値					目標	単位	目標数値									
						現状	目標	目標年実績値	目標年達成率	再評価実績値	再評価達成率		現状	目標	目標年実績値	目標年達成率	再評価実績値	再評価達成率				
国頭村 他8市町村	北部地区さとうきび生産振興協議会	令和3年度	令和4年度	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	4,127	4,623	3,682	-89.7%	-	-	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	17	24	26	134%	-	-	○	○	肥培管理に取り組むことで単収の向上を目指したが目標未達。一方、土壤診断の目標は達成できていることから再評価は行わず、引き続き目標達成に向け取組を促す。
沖縄市 他7市町村	中部地区さとうきび生産振興対策協議会	令和3年度	令和4年度	生産量を平年水準以上に増加	t	27,926	28,216	24,716	-1106.9%	-	-	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	14	33	36	112%	-	-	○	○	肥培管理に取り組むことで生産量の増加を目指したが目標未達。一方、土壤診断の目標は達成できていることから再評価は行わず、引き続き目標達成に向け取組を促す。
那覇市 他6市町村	南部地区さとうきび生産振興対策協議会	令和3年度	令和4年度	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	5,644	5,926	5,288	-126.2%	-	-	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	20	26	27	130%	-	-	○	○	地力増進に取り組むことで単収の向上を目指したが目標未達。一方、土壤診断の目標は達成できていることから再評価は行わず、引き続き目標達成に向け取組を促す。
北大東村	北大東製糖株式会社	令和3年度	令和4年度	生産量を平年水準以上に増加	t	27,725	29,200	23,441	-290.4%	-	-	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	20	27	24	66%	-	-	○	○	地力増進に取り組むことで生産量の増加と土壤診断の増加を目指したが、どちらも目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。
南大東村	南大東さとうきび生産振興対策協議会	令和3年度	令和4年度	生産量を平年水準以上に増加	t	81,224	85,285	87,602	157.1%	-	-	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	6,600	7,350	6,890	39%	-	-	○	○	病害虫防除に取り組むことで生産量の増加を目指し、目標達成。単収向上の目標については未達であるが、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、再評価は行わず、引き続き目標達成に向け取組を促す。
伊是名村	伊是名村さとうきび糖業振興会	令和3年度	令和4年度	生産量を5%以上増加	t	20,602	22,106	21,937	88.8%	-	-	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	6	18	23	146%	-	-	○	○	肥培管理に取り組むことで生産量の増加を目指したが目標未達。一方、土壤診断の目標は達成できていることから再評価は行わず、引き続き目標達成に向け取組を促す。
久米島町	久米島さとうきび振興協議会	令和3年度	令和4年度	生産量を平年水準以上に増加	t	49,552	54,600	53,391	76.0%	-	-	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	18	30	31	110%	-	-	○	○	肥培管理に取り組むことで生産量の増加を目指したが目標未達。一方、土壤診断の目標は達成できていることから再評価は行わず、引き続き目標達成に向け取組を促す。
石垣市 竹富町	八重山地区さとうきび生産振興協議会	令和3年度	令和4年度	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	5,330	5,597	3,746	-593.3%	-	-	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	4	16	8	39%	-	-	○	○	肥培管理に取り組むことで単収の向上と土壤診断の増加を目指したが、どちらも目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。
宮古島市	宮古地区さとうきび糖業振興会	令和3年度	令和4年度	生産量を平年水準以上に増加	t	303,506	354,091	310,447	13.7%	-	-	土壤診断実施面積を6%以上増加	%	37	43	42	88%	-	-	○	○	地力増進に取り組むことで生産量の増加と土壤診断の増加を目指したが、どちらも目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。